



城陽おひさまプロジェクト news

第64号 2025年6月20日

NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会

0774-55-4190 <http://jyoyonokai.sakura.ne.jp>

2025市民発電・城陽 記念講演と総会 5月24日、ぱれっとにて 27名が参加

記念講演は防災士の広瀬さんが講師

「気候危機と災害、あなたの備えは」

呼子笛や非常食のビスケットなどすぐに役立つ防災グッズ プレゼントに喜びの声

市民発電・城陽の会は5月24日（土）の午後、城陽市男女共同参画支援センター・ぱれっとJOYOにおいて総会を開催し、前年度の活動の総括・今年度の活動方針、予算や決算そして理事の選任を行いました。総会に先立って、NPO法人気候ネットワークスタッフで防災士の広瀬 和代氏が「気候危機と災害 ～あなたの備えは～」のタイトルで記念講演が行われました。講演会は城陽市の後援を受け、広報城陽に掲載されたこともあり市内外から27名が参加されました。また、城陽市から提供された「防災ブック」（B4 46頁）・エマジエンシークッキー（長期保存食品、但し8月が賞味期限なので出来るだけ早く食べるように促しました）と私たちの会から緊急用呼子笛をお渡ししました。

広瀬氏の講演概要

南丹市で米づくりもしています。防災をテーマにいろいろな所でお話をしています。特に小学生4年生を相手に防災の話をさせてもらっています。娘が10歳ぐらいの頃に書いた「お絵描き」がこの手拭いのデザイン、ここに展示していただいています、ありがとうございます。

さて、今年の夏は暑かった、でも未来から見ると「あの頃は涼しかった！」と言われるかもしれません。

2024年7月は126年間で一番暑い夏でしたが、2100年の天気予報はもっと暑くなると予想されています。大阪の気温は42.7度、東京は43.3度になるとされています。地球温暖化の影響だと言われています。

どのような影響が出ているかと言いますと、救急車の出勤回数が1985年以降最多となっています。また、記録的猛暑で“コメ不足”もおきています。夏の高校野球は試合時間の変更などが行われました。

「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉ご存じだと思います。これは起きてしまった災害を忘れることなく日々の備えをしようという意味です。近年は毎年豪雨災害や災害級の猛暑が発生し、加えて地震など複合的な災害に結び付くリスクが高まっています・大切な命と未来を守るために私たちにできることを考えたいと思います。

1 日本で発生した災害と過去からのメッセージ

自然災害とは何でしょう、火山噴火、地震、暴風雨、豪雪や森林火災、猛暑などがあげられます。地震や火山は予知することはできません、いつ起こるかわかりませんが活火山は111、世界で4



広瀬氏の娘さんが描かれた手拭い



講師の広瀬さん

2020・r2の熊本災害は、豪雨と新型コロナウイルスの感染症との複合災害でした。京都も大きな災害にさらされています。古くは慶長伏見地震(1596年)では伏見城の天守が崩壊して石垣も崩れました。1935・s10年には三条大橋が流出すると言う京都大水害が起こっています。近年でも2018年7月豪雨では死者5名4000人が避難しています。

豪雨災害や地震災害はいつ起こるかわかりません、どこで起こるかもわかりません。自分が住んでいる場所の特徴を知って、リスクに合わせた備えが必要です。

さて、冒頭に昨年は世界的に前例のない暑さと申しました。世界の平均気温が産業革命前より1.5度上がったことでこのような状況が起こっています。このまま何も対策をしなければ2100年には最大5.7度上昇すると言われています。最近100年間では約1.1度の気温上昇です、それでも夏の暑さはすさまじく熱中症で亡くなる人が多くなっています。なんとか産業革命前に比べ1.5度までに気温上昇を押しさえようと、世界の国々が集まって2050年までにカーボンゼロを実現しようと取り組んでいます(パリ協定)が全く足りていないのが現状です。温暖化が進むとどうなるか、例えば海水温の上昇があげられます。海水温の上昇は台風の大規模化を促して、大きな被害をもたらします。大雨も多くなります。もし4度以上にあがるとすれば2.7倍にも増加すると予想されています。山火事の増加も温暖化が影響していると言われています。

2 進む気候変動に適応するには(緩和と適応)

気候変動に対しては原因を少なくしていく「緩和」と影響に備える「適応」の二つの対策が必要です。これは車の両輪です。温室効果ガスを減らすことや再エネを普及させることは「緩和」政策として極めて重要です。そして熱中症の予防をすることや高温でも育つ作物の品種を改良することなどは「適応」として被害を軽減する施策として大切です。どちらかをしているからもうそれ以上はいらないなどとは思わずに身近な努力を続けていってください。

3 決めていますか?避難スイッチ

「適応」の一つとして避難スイッチがあります。今日配られている防災ブックの裏表紙が災害・避難カードになっています。そこに避難の合図(スイッチ)がありますので、ぜひご家族で話し合ってお自身の避難スイッチを作ってください。できれば今日帰ってこのカードを書いてください。早すぎることはありません。

ハザードマップを見ると浸水想定区域が分かります。3-5mの浸水区域ですと1階は天井まで

水が来るということです。場合によれば2階にも洪水が押し寄せることを意味しています。また、浸水継続期間も重要な要素です。すぐに水が引くのか2日も3日も水が引かないのか、それによって家にいる場合の水や食料などの備えを考えることができます。

備えるポイントとして、家の中の危険カ所と安全カ所を確認することや防災用品は見えるところに置いておくこと、すぐに取り出せないと意味がありません。また、家族が一緒にいない場合を想定して連絡手段を決めておきましょう。毎月1日には「171」の非常用ダイヤルが無料で練習できるようになっていますから、試してみられるのもよいと思います。

命を救う方法を自分事として考えてください。防災用品ですが、メガネや入歯、薬など代用がきかないものはメモ書きするなど忘れないように工夫して備えましょう。食べるものだけではなくトイレのことも考えて用意してください。発災後6時間以内に7割の方はトイレに行きたくなったという統計があります。トイレ対策は命と尊厳にかかわる重大事項です。その外、停電対策（充電式LED電球など）や家の耐震化も大切です。

4 注目されているこれからの地域づくり

防災・減災と気候変動とは密接なつながりがあります。気候変動リスクを踏まえながら抜本的な防災・減災対策が必要です。再エネの導入もその一つですが、日本の再エネ目標はまだ低く、原発や石炭・LNG火力を優先しています。国際社会から低い評価をうけ経済産業分野の成長にも影響があります。RE100（再エネ100%）ではサプライチェーンでの再エネ転換を要求しています。再エネを優先するのは合理的な考え方と言えます。

鹿児島県の南種子町では台風10号による停電で町が導入した8台の公用電気自動車が避難所に配置され非常用電源として住民の安全確保に大いに役立ちました。龍谷大学では2022年に「龍谷大学カーボンニュートラル宣言」を出し、創立400周年を迎える2039年に「ゼロカーボンユニバーシティ」の達成を目指しています。

大切な命と未来を守るために「ジブンゴト」にすること、地域や個人でコミュニティ形成を実践していくことが重要です。気候災害を緩和させるためにも適応（備えなど）とともにカーボンニュートラルな社会をみんなで実現しましょう。

最後に、これだけはおぼえておいてください

災害が起こったその時何ができるかは、それまで何を備えておくかで決まります。

市民発電・城陽の会 総会 すべての議案を採択、新理事に山田氏就任

記念講演の後、同じ会場で2025年度総会が行われました。司会から正会員は55人、定款により成立は1/3なので19名であり委任状を含め49名が参加されており、総会が成立していることが確認されました。

最初に杉浦副理事長が議長に選出され、議事に移りました。（先に配布しています議案書をご覧ください）

1号議案の活動報告部分は杉浦副理事長が決算については古家野理事長が報告しました。つづいて、2号議案の活動計画及び予算案について関根理事が報告、発電設備設置費用借入等の説明は古家野理事長が報告しました。また、監査報告は草深監事から報告をしました。

質疑では

Q FITが終わり、売電価格が下がっているのに、売るよりも使うことを重視するようにお知らせしてはどうか。

A 売るより使うとの方向はそのとおりでとおもいます。また売るのであればたんたんエナジーのような新電力がおすすめです。



関根理事の議案説明

Q メンテナンスは必要か？ するのであればどうしているのか教えてください。

A メンテナンスは必要ですのでしてください。京セラであれば当社がメンテナンス業者のエリアを決めているようなので、電話をすれば業者を教えてください。などなど、活発な質疑や討論がありました。

1・2 儀案は全員の拍手で採択されました。

3号議案の役員改選について、立候補の意思を諮ったところ申し出はなく、現在の役員メンバから役員候補が提示され、全員の拍手で確認されました。選出された役員は次の方々です。

理事には古家野・杉浦・関根・三ツ橋・山田（新）の皆さん。監事は草深・濱田さんが継続して就任されます。伊藤理事は今期で退任します。

4号議案（議事録署名人）も拍手で採択され、すべての議案は採決されました。

総会で決まった方針に基づき、原発ゼロ、温暖化防止をめざし、公的施設及び個人宅に再生可能エネルギーによる発電事業をひろげるために役員一同頑張ります。

① 引き続き、ゼロ円システム（初期費用ゼロ）による発電設備や蓄電池の設置の募集をします。

設置費目安（一面設置例） A 太陽光発電 3.48kW 年額 210,720 円

*設置面数や瓦種類や B 太陽光発電 4.35kW 年額 229,560 円

足場、パネル機種により C 太陽光発電 6.96kW 年額 331,320 円

変動します。 D 太陽光発電 3.48kW+蓄電池 5.6kWh 年額 563,280 円

E 太陽光発電 4.35kW+蓄電池 5.6kWh 年額 579,840 円

F 太陽光発電 6.96kW+蓄電池 5.6kWh 年額 662,640 円

G 蓄電池 5.6kWh 年額 397,560 円

*太陽光発電と蓄電池同時設置（上記D,E,F）は固定価格買取制度（FIT）適用の場合上限14万円の城陽市補助金があります。売電しない場合は上限27万円が補助金になります。

近隣自治体もほぼ同様です、詳細は各自自治体に問合せ下さい。

② 京都府が京都府と共に2050年CO2排出実質ゼロ実現のために京都0円ソーラーの普及に力を入れています。私たちはこの京都0円ソーラーも推奨し、紹介します。

・自宅への発電設備の設置が無料で、10万円の給付金付きです。

・発電した電気は有料ですが、再エネ賦課金、燃料調整費は不要ですので、お得です。

・発電設備の所有者は設置した業者です。一定の契約期間はメンテナンスの費用は設置業者持ちです。契約期間が終了すると発電設備は屋根主に無償譲渡されます。その後の発電した電気の料金は当然、無料になります。

③ 京都府の自立的地域活用型再生可能エネルギー設備等導入補助事業を社会福祉法人や各種団体、企業への適用をサポートさせていただき活動もすすめてまいります。10kW以上の発電設備と蓄電池同時設置で税抜き価格の2分の1（ENS設置の場合）または3分の1を京都府が補助する制度が本年も予定されています。

④ その他、各会員の皆様の事情やニーズに合わせて、個別の相談に応じますのでご連絡下さい。



本会のQRコードです。簡単にホームページを閲覧することができます。

NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会

連絡先 0774-55-4190 e-mail bnkmf858@kcn.jp